

避難生活を少しでも快適に

段ボール製品の調達に関する3者協定を締結

6月23日、町は、Jパックス株式会社(大阪府)、九州カートン株式会社(佐賀県)の2社と「災害時における段ボール製品の調達に関する協定」を結びました。

町では、避難所用の段ボール製ベッドとパーティションを300セット備蓄していますが、大規模災害が発生した場合には不足することが見込まれます。この協定により、不足する段ボール製品が、災害発生後2日以内を目標に町内各避難所へ届けられます。必要な資器材を確保することで、避難所の生活環境向上を図ります。



左から九州カートン(株)出水保徳常務、西村町長、Jパックス(株)水谷嘉浩社長



造成工事が完了した5画地の中の1画地

自宅再建への第一歩

益城中央被災市街地復興土地区画整理事業

益城中央被災市街地復興土地区画整理事業による造成工事が一部完了し、宅地の引き渡しが始まりました。

最初に造成工事が完了したのは、宮園、寺迫地区にある5画地。県益城復興事務所は、6月24日から、その5画地の地権者たちを現地に招き、土地の広さや境界などを説明し、6月30日、各地権者に引き渡しました。

県と町は、同事業により宅地460画地の造成の他、公園や災害に強い道路を整備することとしており、令和9年度までの完了を目指し、引き続き取り組んでいきます。

食と農の大切さを知って

JAかみましきから食農教育雑誌贈呈

7月9日、JAかみましきから町教育委員会に、JAグループが発行する雑誌「ちゃぐりん」が贈呈されました。

ちゃぐりんは、食と農の大切さを伝えるための子ども向け雑誌です。今回、約400冊が贈呈されました。送られた雑誌は、町内の小学4年生に配られます。

贈呈に際し、同JAの松本和文常務理事は、「新型コロナウイルスの影響により、子どもたちは家庭で食事することが多くなっていると思うので、この雑誌を家庭でも活用してほしい」と話しました。



ちゃぐりんを贈呈する松本常務理事(左)と酒井博範教育長

私が見つけた
 しみ方



「家の畑を掘って池を作りました。すぐに干上がりますが、水が張っている時は、アメンボやカエルがやって来ます」 高木一誓くん(飯田)

「私が見つけた楽しみ方」募集中です。下記方法によりご応募ください。採用者には、500円分のQUOカードをプレゼント！

【応募方法】楽しみ方、住所、氏名(匿名希望の場合はその旨を明記。ペンネームも可)、電話番号を記入した用紙と写真(返却できません)を封筒に入れ、「〒861-2295 益城町役場 広報ましき『私が見つけた楽しみ方』係」宛てに郵送。